

モンゴル経済概況

(2018年1～12月)

2019年3月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

【免責条項】

本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載

目次

1. モンゴルの基礎データ
2. 最近の政治動向
3. GDP成長率の推移
4. 貿易の推移
5. 名目鉱工業生産の推移
6. 貨物輸送量
7. 物価(CPI)
8. 歳入・歳出の推移
9. 貸出残高
10. M2の推移
11. 対ドル・対円の為替レート
12. 外貨準備高
13. 主要輸出入品目
14. 主要輸出相手国
15. 主要輸入相手国
16. 主要国・地域別直接投資額
17. 主要国・地域別投資企業数
18. 主要業種別投資企業数
19. モンゴル企業の動向事例
20. 日本からの直接投資
21. 日本との貿易概況

1. モンゴルの基礎データ

国名：モンゴル国

面積：156万6,600平方キロメートル

人口：323万9,500人(2018年末現在)

首都：ウランバートル

民族：モンゴル人（全体の95%）およびカザフ人等

言語：モンゴル語（公用語）、カザフ語

宗教：チベット仏教等（1992年2月の新憲法は信教の自由を保障）

政体：共和制（大統領制と議院内閣制の併用）

行政区分：21県と1特別行政区（ウランバートル）

通貨：トゥグルク（100トゥグルク=約4.17円）

（2018年12月31日現在）

2.最近の政治動向

国会議長を解任

2019年1月25日に39名の国会議員が連名でM.エンフボルド議長の解任決議案を提出した。

国会では、議長解任決議案を行政組織委員会で審議した後、2019年1月29日に国会本会議で審議し、出席議員の76.6%の賛成により議長解任決議案が可決された。

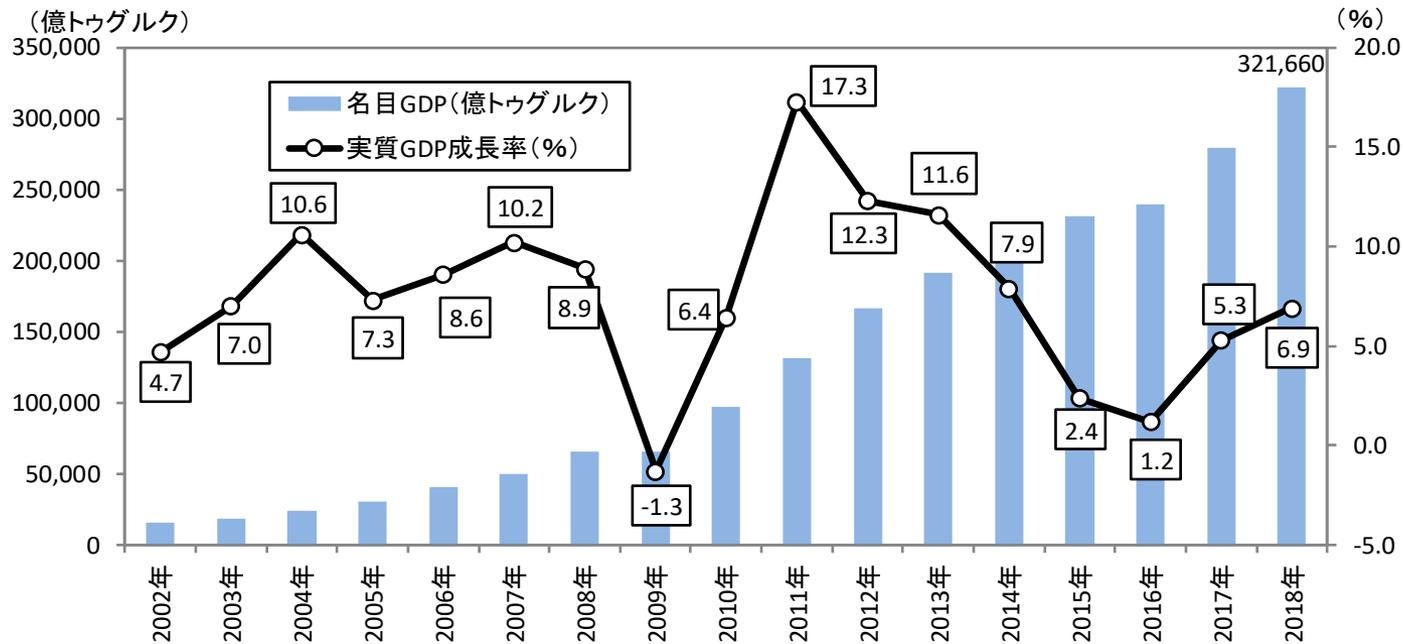
後任の国会議長にはG.ザندانシャタル官房長官が就任し、後任の官房長官にはL.オユンエルデネ議員が就任した。

また、中小企業支援基金から不正融資を受けて辞任したYa.ソドバートル道路運輸開発大臣の後任にはB.エンフアムガラン議員が、内閣不信任案に閣内造反して解任されたツォグゾルマー教育・文化・科学・スポーツ大臣の後任にはYo.バータルビレグ議員が就任した。

出所：モンゴル国会ホームページ
<http://www.parliament.mn/n/npcy>
<http://www.parliament.mn/n/g3cy>

3.GDP成長率の推移

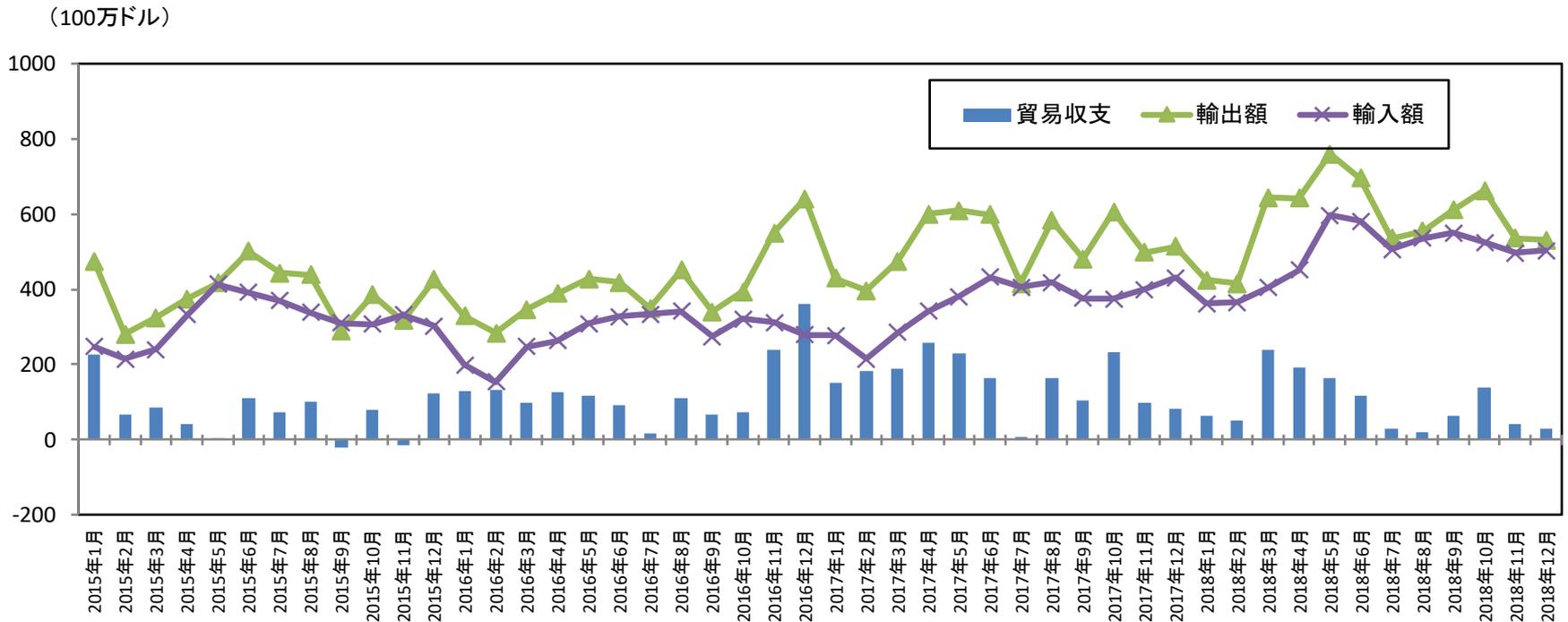
2018年の実質GDP成長率は6.9%で、前年(5.3%)より1.6ポイント上昇した。名目GDPは前年比15.3%増の32兆1,660億トウグルクだった。国家統計局は経済成長率が回復した背景として、サービス業(特に金融・保険業)、製造業、建設業が好調であったことを挙げた。



注: 2017年は暫定値、2018年は速報値
出所: 国家統計局

4.貿易の推移

2018年の貿易総額は、前年比22.3%増の128.9億ドルに達した。うち、輸出額は13.1%増の70.1億ドル、輸入額は35.5%増の58.8億ドルとなった。

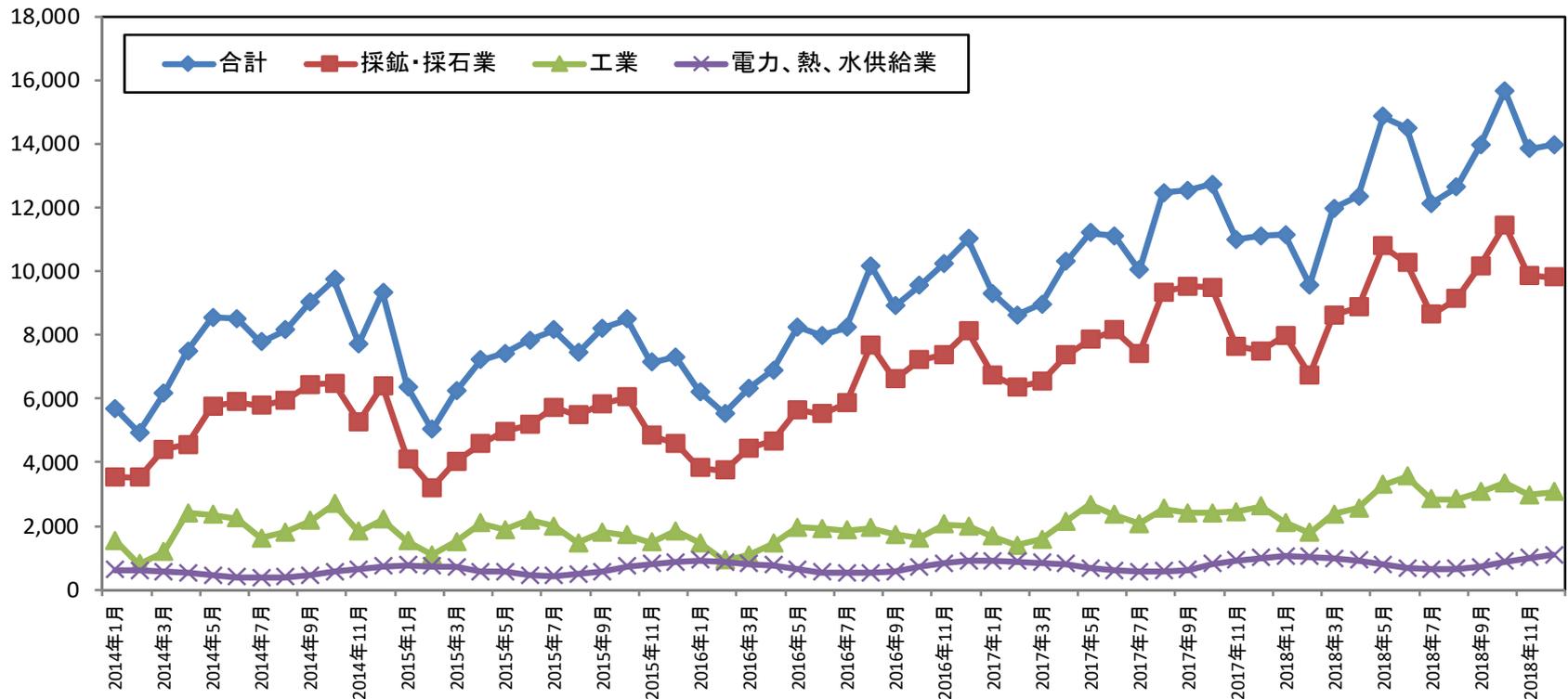


出所: 国家統計局
注: 2018年は速報値

5. 名目鉱工業生産の推移

2018年の鉱工業生産額は、前年比21.0%増の15兆6,567億トウグルクとなった。採鉱・採石業の生産額が19.6%増と増加し、とくに石炭の生産額が63.1%増と大幅増となったことが主な要因である。

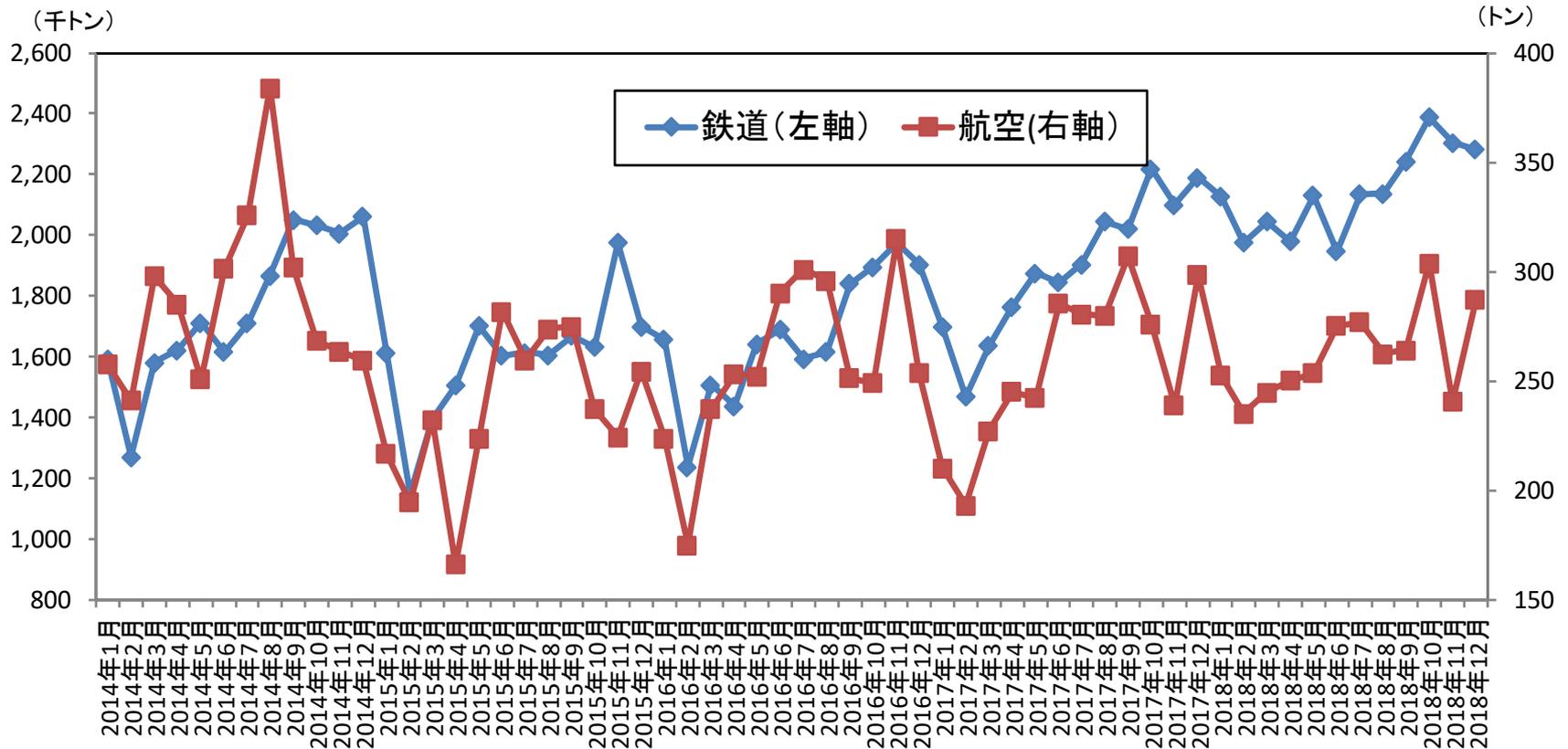
(億トウグルク)



出所：国家統計局
2018年は速報値

6.貨物輸送量

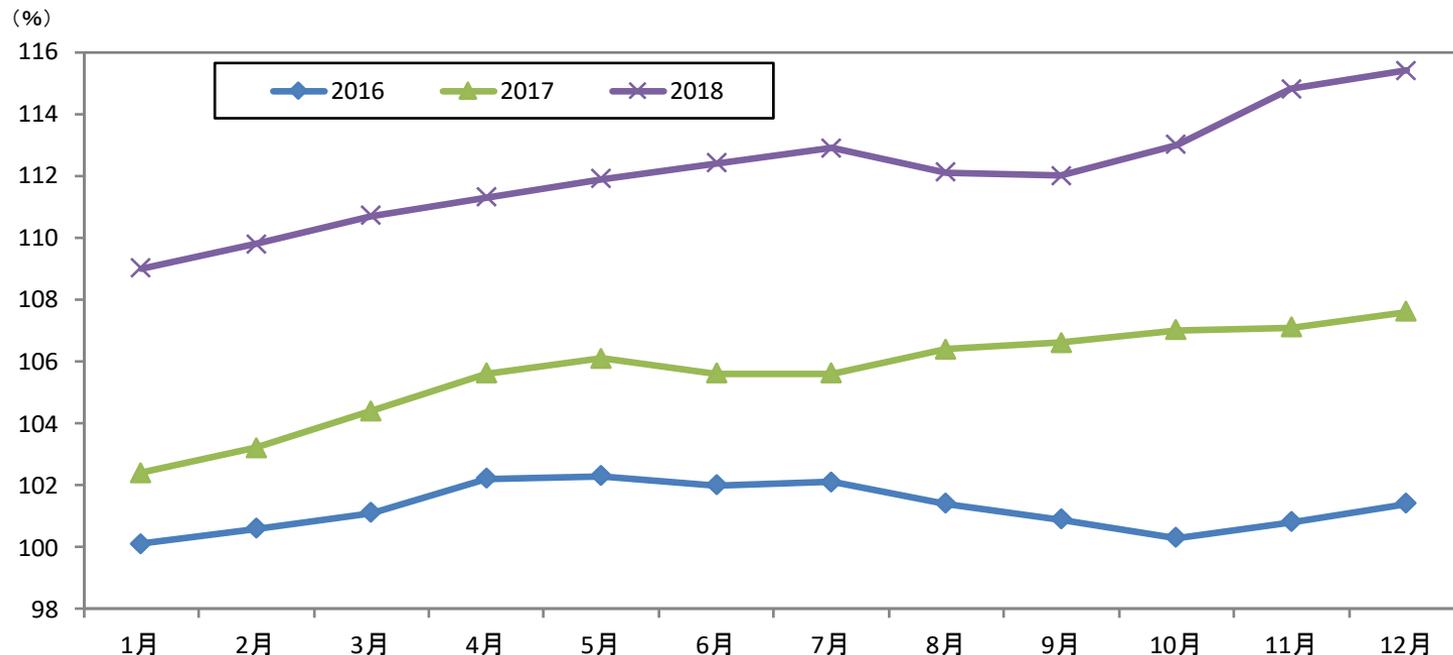
2018年の鉄道貨物輸送量は、前年比12.9%増の2,570万トン、航空貨物輸送量は、前年比2.0%増の3,146トンだった。



出所：国家統計局
2018年は速報値

7.物価(CPI)

2018年12月のCPI(全国)は前月比0.6%上昇、前年同月比8.1%上昇した。上昇の主な要因は住居・光熱水道・燃料(前年同月比16.3%)、医療(11.4%)、交通(9.7%)、食品・飲料(9.1%)、酒類・タバコ(8.0%)の価格上昇であった。

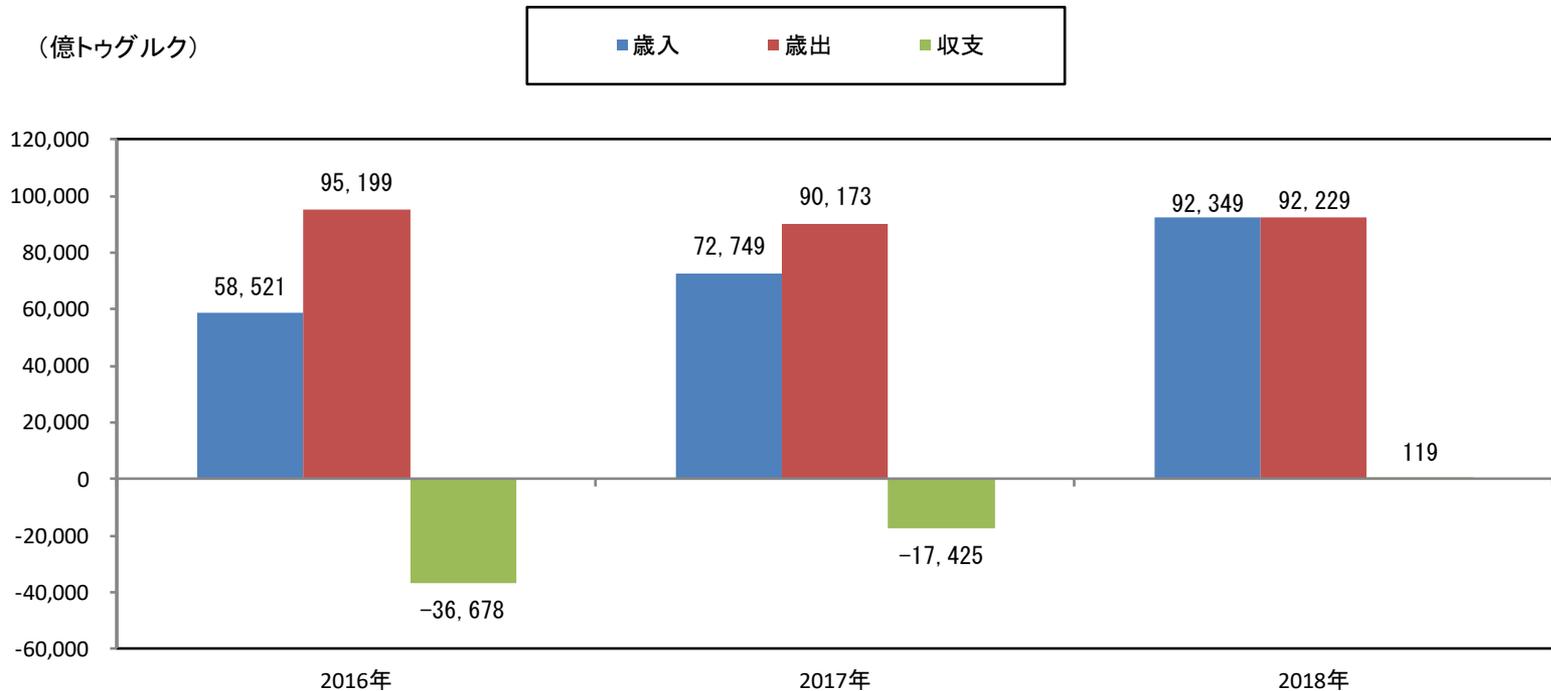


出所: 国家統計局

注: 2015年末を100%とする指数

8.歳入・歳出の推移

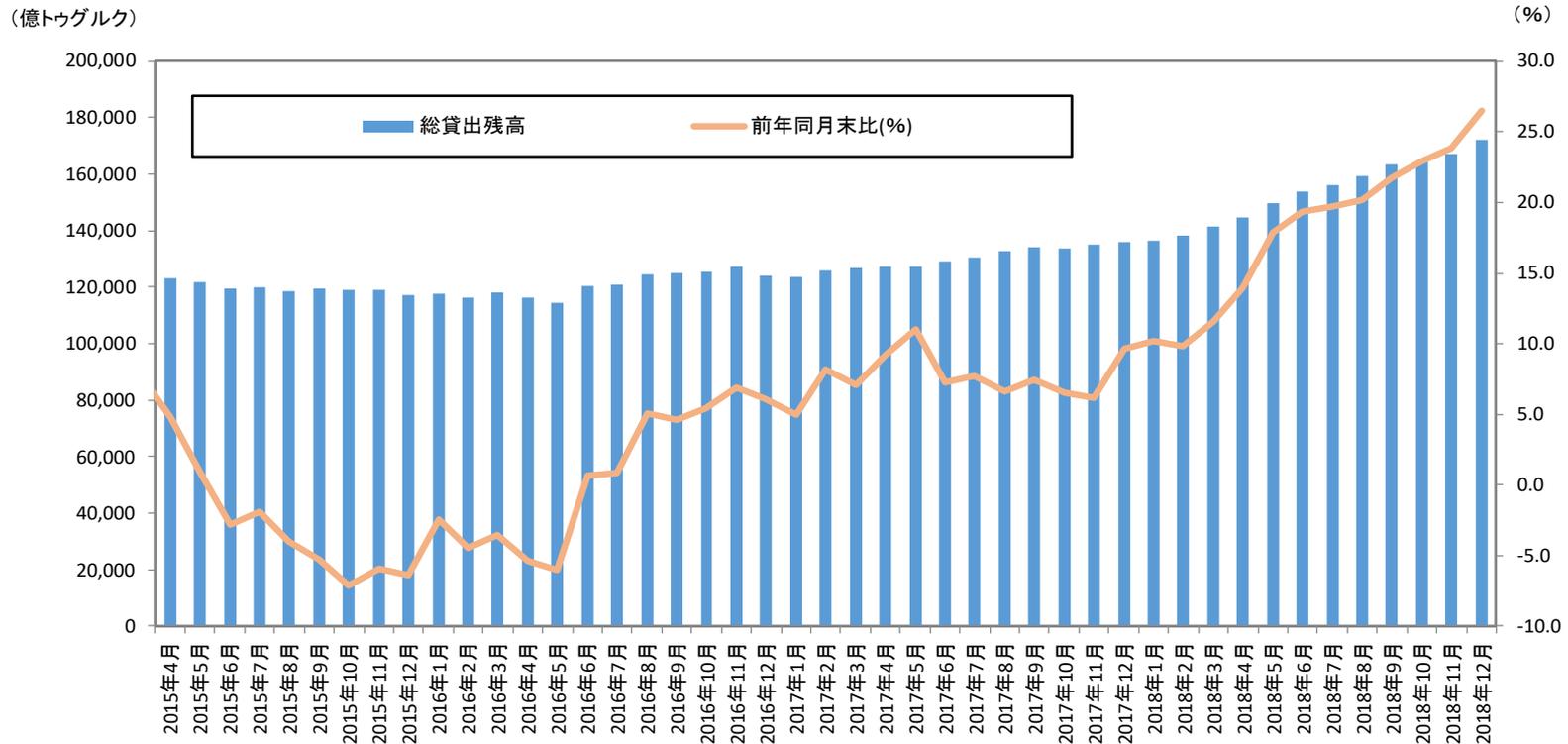
2018年の政府の歳入は9兆2,349億トウグルク、歳出は9兆2,229億トウグルクとなった。財政収支は、119億トウグルクの黒字となった。



出所: 国家統計局
注: 2018年は速報値

9.貸出残高

2018年12月末時点の総貸出残高は、前年同月末比26.5%増の17兆2,257億トゥグルクだった。

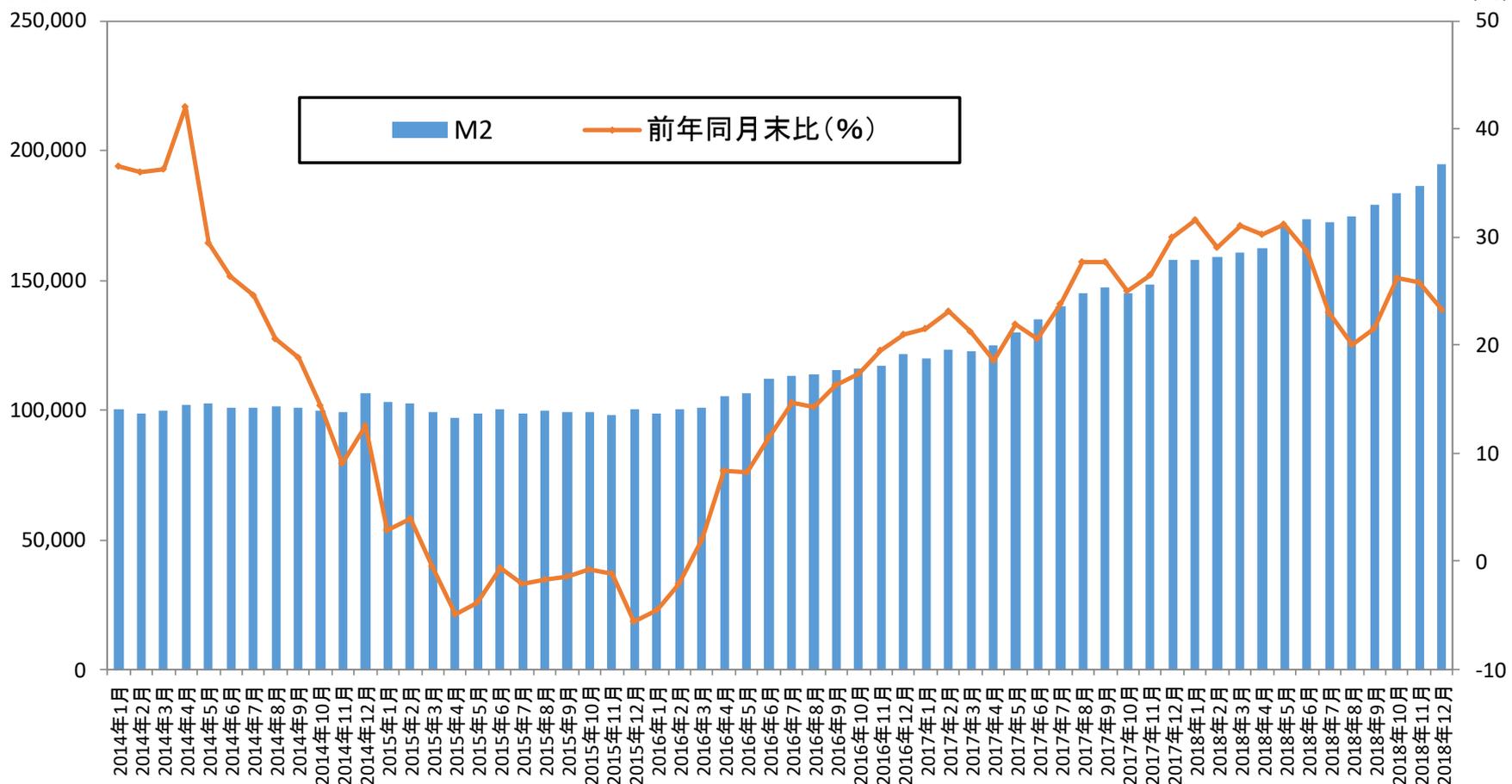


出所: モンゴル銀行

10.M2の推移

2018年12月末のマネーサプライ(M2)は、前年同月末比23.3%増の19兆4,748億トウグルクだった。

(億トウグルク)



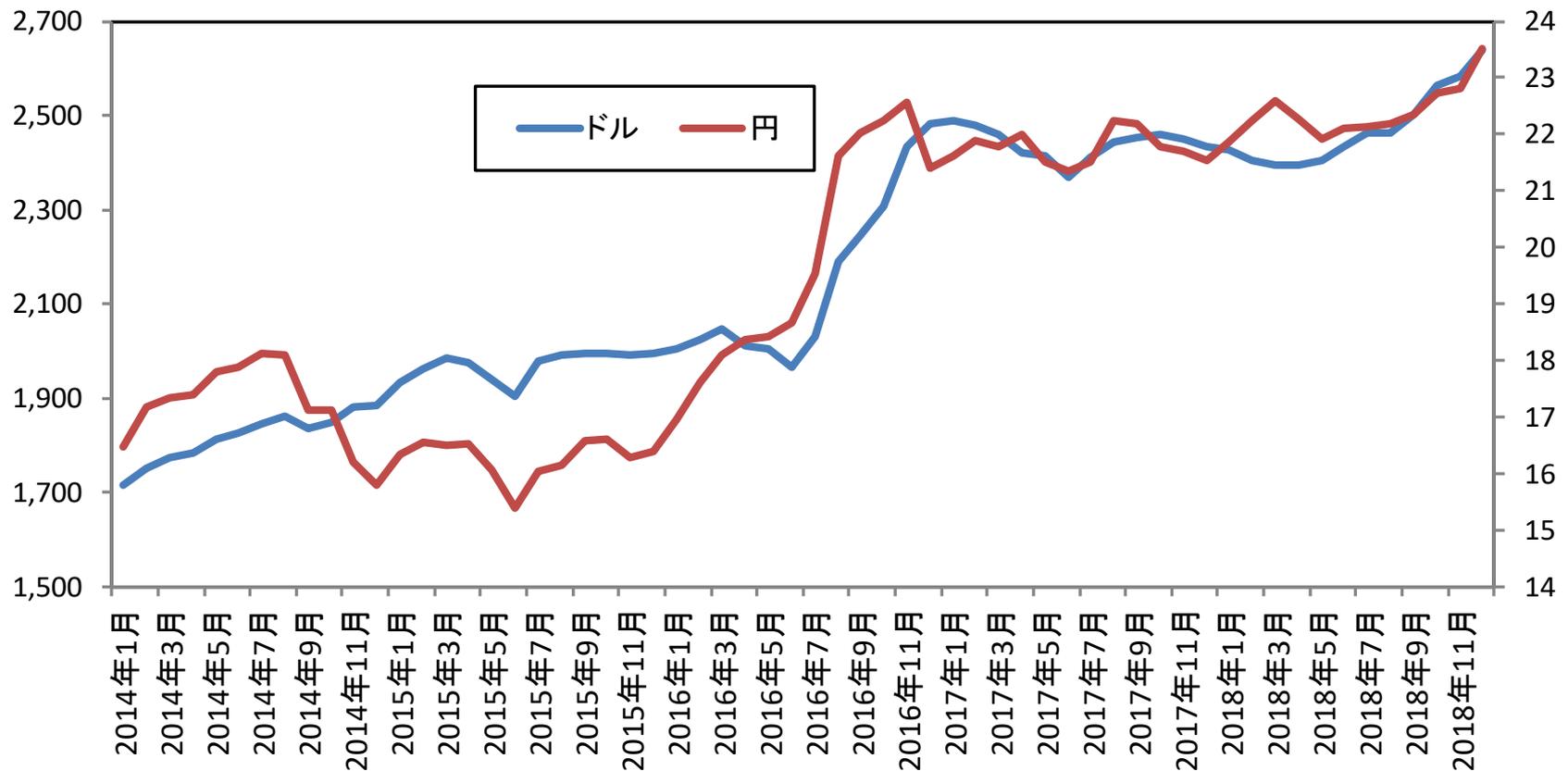
出所: モンゴル銀行

11. 対ドル・対円の為替レート

2018年12月は前月比で対円、対ドル共にトウグルク安となり、1円23.51トウグルク、1ドル2,637トウグルクだった。

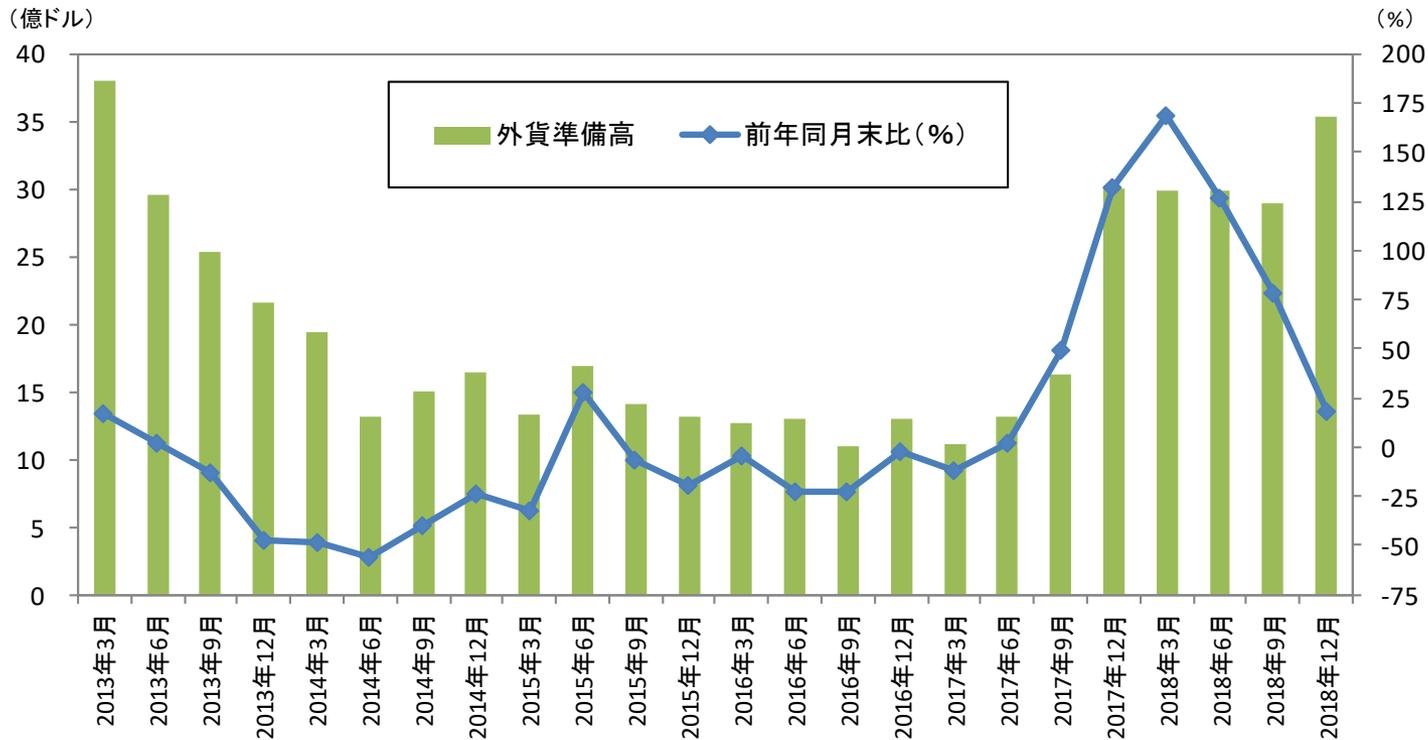
(トウグルク/ドル)

(トウグルク/円)



12.外貨準備高

2018年12月末時点におけるグロス外貨準備高は、前年同月末比17.7%増の35億4,160万ドルとなった。



出所: モンゴル銀行

13. 主要輸出入品目

2018年の主要輸出品目のうち、石炭が前年比23.5%増加した。輸入品目では、卑金属およびその製品の輸入額が同61.8%増加した。

(単位:100万ドル)

品目		2016年	2017年	2018年	前年比
輸出		4,916.3	6,200.6	7,011.8	13.1%
	鉱物	3,484.1	4,933.7	6,070.3	23.0%
	石炭	973.1	2,267.6	2,802.5	23.5%
	卑金属およびその製品	86.2	101.0	91.8	-9.2%
	皮革および毛皮並びにこれらの製品	30.2	23.9	17.0	-29.1%
	生地およびその製品	300.2	335.5	409.8	22.2%
	石、人造石、貴金属および宝石	761.5	596.9	145.5	-75.6%
輸入		3,358.1	4,337.3	5,875.0	35.5%
	食料品	329.2	378.7	436.7	15.3%
	鉱物	724.3	985.9	1,325.8	34.5%
	ガソリン	192.7	243.7	308.7	26.6%
	ディーゼル	254.8	427.9	576.7	34.8%
	卑金属およびその製品	210.9	333.9	540.3	61.8%
	自動車およびその部品	435.6	622.7	896.8	44.0%
機械器具、電気製品	680.4	922.7	1,285.9	39.4%	

注:2018年は速報値

出所:国家統計局

14. 主要輸出相手国

2018年の主要輸出相手国のうち、輸出金額で1位の中国は前年比23.3%増、構成比は93.3%(同7.7ポイント上昇)となった。

国名	2016年		2017年		2018年		
	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	構成比(%)	金額(千ドル)	伸び率(%)	構成比(%)
合計	4,916,335.4	100.0	6,200,593.0	100.0	7,011,765.0	13.1	100.0
中国	3,901,619.6	79.4	5,307,431.8	85.6	6,542,823.6	23.3	93.3
英国	557,050.6	11.3	660,535.7	10.7	172,856.0	-73.8	2.5
ロシア	55,769.1	1.1	67,661.1	1.1	85,937.4	27.0	1.2
イタリア	33,579.3	0.7	43,299.9	0.7	54,078.1	24.9	0.8
シンガポール	16,913.2	0.3	26,119.5	0.4	30,008.4	14.9	0.4
日本	14,031.7	0.3	14,816.5	0.2	26,468.5	78.6	0.4
韓国	8,470.4	0.2	11,617.8	0.2	21,200.4	82.5	0.3
ドイツ	43,386.5	0.9	11,648.0	0.2	12,280.7	5.4	0.2
ベトナム	2,856.7	0.1	1,651.4	0.0	9,648.3	484.2	0.1
イラン	55.4	0.0	8,266.3	0.1	9,022.3	9.1	0.1
米国	10,461.5	0.2	8,299.1	0.1	7,603.3	-8.4	0.1
フランス	7,069.0	0.1	5,735.8	0.1	5,396.6	-5.9	0.1
その他	265,072.3	5.4	33,510.0	0.5	34,441.4	2.8	0.5

注:2018年は速報値

出所: 国家統計局

15.主要輸入相手国

2018年の輸入総額は前年比35.5%増加した。主要輸入先15カ国のうち、第1位の中国と第2位のロシアで6割以上を占める。日本は第3位で約1割を占めた。

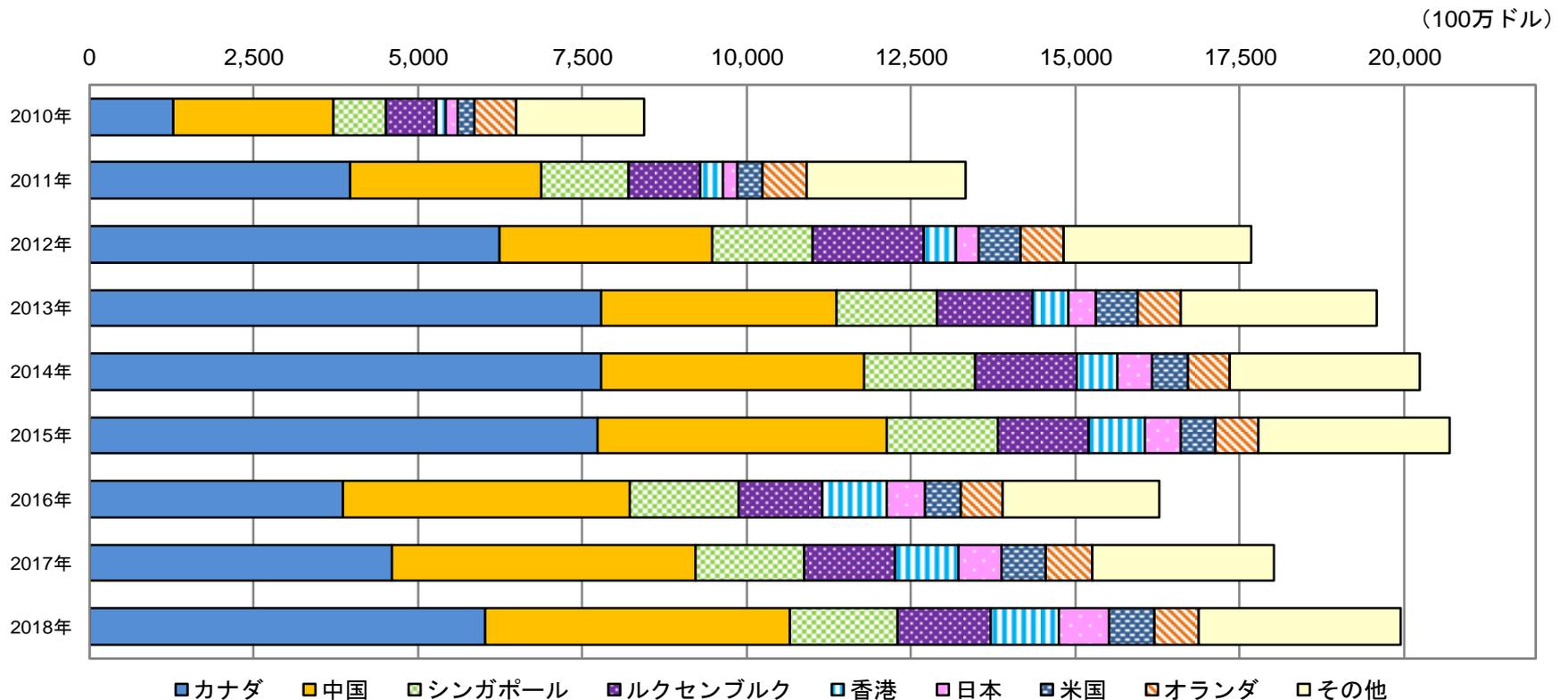
国名	2016年		2017年		2018年		
	金額(千ドル)	構成比	金額(千ドル)	構成比	金額(千ドル)	伸び率 (%)	構成比
合計	3,358,140.4	100.0	4,337,322.4	100.0	5,875,032.1	35.5	100.0
中国	1,061,163.3	31.6	1,429,692.4	33.0	1,995,030.2	39.5	34.0
ロシア	880,403.2	26.2	1,217,261.4	28.1	1,710,347.3	40.5	29.1
日本	330,618.7	9.8	363,150.7	8.4	561,042.6	54.5	9.5
韓国	197,889.0	5.9	197,703.7	4.6	262,365.9	32.7	4.5
米国	139,229.3	4.1	208,442.4	4.8	211,463.8	1.4	3.6
ドイツ	120,302.9	3.6	128,350.5	3.0	168,735.8	31.5	2.9
ポーランド	40,985.6	1.2	48,350.0	1.1	58,027.1	20.0	1.0
イタリア	32,039.6	1.0	45,850.4	1.1	54,726.6	19.4	0.9
インド	24,756.5	0.7	35,878.0	0.8	51,751.6	44.2	0.9
マレーシア	41,075.6	1.2	39,988.3	0.9	50,303.0	25.8	0.9
豪州	21,947.1	0.7	36,550.3	0.8	49,912.9	36.6	0.8
ベトナム	40,139.2	1.2	39,798.8	0.9	48,951.0	23.0	0.8
トルコ	26,000.5	0.8	29,095.8	0.7	39,155.0	34.6	0.7
フランス	19,498.0	0.6	32,417.9	0.7	39,145.3	20.8	0.7
スウェーデン	25,386.0	0.8	32,747.6	0.8	39,084.7	19.4	0.7
その他	356,705.9	10.6	452,044.2	10.4	534,989.3	18.3	9.1

注:2018年は速報値

出所: 国家統計局

16.主要国・地域別直接投資額

2018年末の直接投資額(累計)は、200億ドルとなった。主要国別ではカナダ、中国、シンガポール、ルクセンブルク、香港の5カ国・地域からの直接投資が148億ドルで全体の74%を占めた。



出所：モンゴル銀行

17.主要国・地域別投資企業数

国家開発庁によると、2018年6月現在の主要国・地域別の直接投資企業数は、合計1万4,490社。このうち、中国が7,272社、全体の約5割を占めて最大。次いで韓国(2,464社)、ロシア(889社)、日本(625社)、米国(329社)等の順となっている。

なお、外務省が実施している海外在留邦人数調査統計(平成30年版(2017年10月))によると、日本企業の支店開設数:支店1社、駐在員事務所56社、現地法人化した企業等数:448社であった。

18.主要業種別投資企業数

2018年6月現在、主要業種別の直接投資企業数の構成は、貿易・レストランが9,786社で全体の3分の2を占める。このほか、鉱業(453社)、エンジニア施設・建築材料生産(451社)、観光(421社)、輸送(243社)、軽工業(210社)、食料品生産(208社)、家畜産業の原料加工業(170社)、農業(170社)、情報通信(131社)等となっている。

19. モンゴル企業の動向事例

MONOSが日本とアジア市場向けにBIOMONシャンプーのデザインを一新

会社名: MONOSコスメティック

事業内容: 化粧品の製造・輸入・販売

創業: 1990年

モンゴルの医薬品最大手、MONOSグループの化粧品部門であるMONOSコスメティックは、モンゴルに自生するイラクサの天然エキスを使ったシャンプーを2005年からモンゴル国内で製造・販売している。2015年にはイラクサシャンプーのブランドをBIOMONに変更し、BIOMONブランドのイラクサエキス入りシャンプーを日本および中国、韓国の市場に輸出するための準備を進めている。その一環として、品質マネジメントシステムISO9001:2015を取得した。

日本市場向けには、日本の代理店を通じて日本の輸入許可を取得した。また2019年1月には、シャンプーのボトルを大型化してポンプタイプに変更し、パッケージのデザインもモンゴル女性の絵が入ったものに変更した。

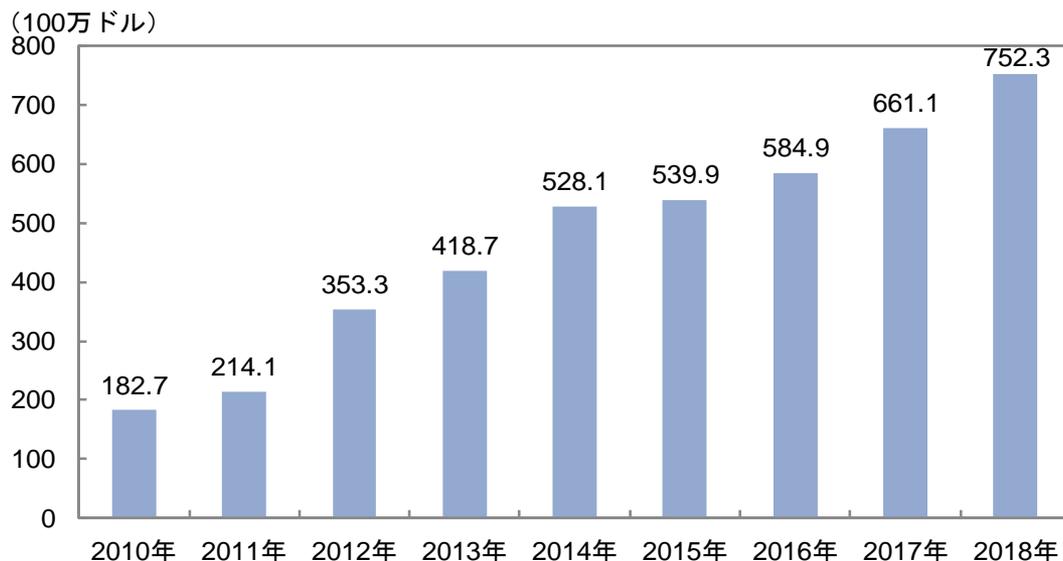
また、中国市場向けにはCFDA(中国国家食品薬品監督管理総局、現在は機構改革により国家市場監督総局に統合)の検査を申請して合格証明書を得たことにより、正式な輸入許可を取得した。ニュースサイトgogo.mnによれば、日本、中国向けに化粧品を輸出する許可を得たのはMONOSコスメティックがモンゴルで初めてであるとされている。

出所: [Monos Cosmetics Facebook](#)
[gogo.mn](#)

20.日本からの直接投資

2018年末の日本からの直接投資額(累計)は、7億5,228万ドルとなった。
日本からの主要企業は、通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、
建設やエネルギーなどの分野となっている。

主要投資企業名(順不同)



出所：モンゴル銀行

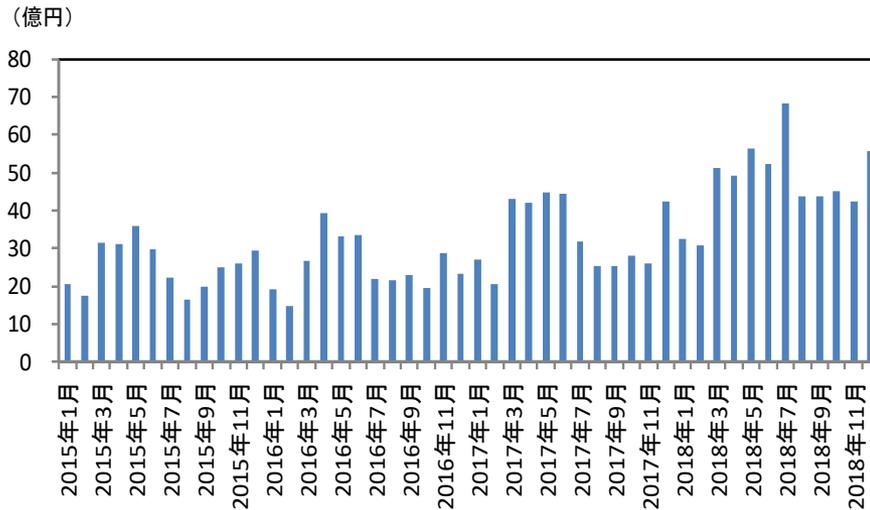
KDDI
澤田ホールディングス
賛光精機
丸紅
双日
三菱商事
住友商事
スルガコーポレーション
会沢高圧コンクリート
ネクサス
旭栄工務、
いずみガーデン
東海運
SBエナジー
KPMGあずさ監査法人
サイサン
日産自動車
オリックス

出所：[日本モンゴル貿易投資データブック2013](#)

21. 日本との貿易概況

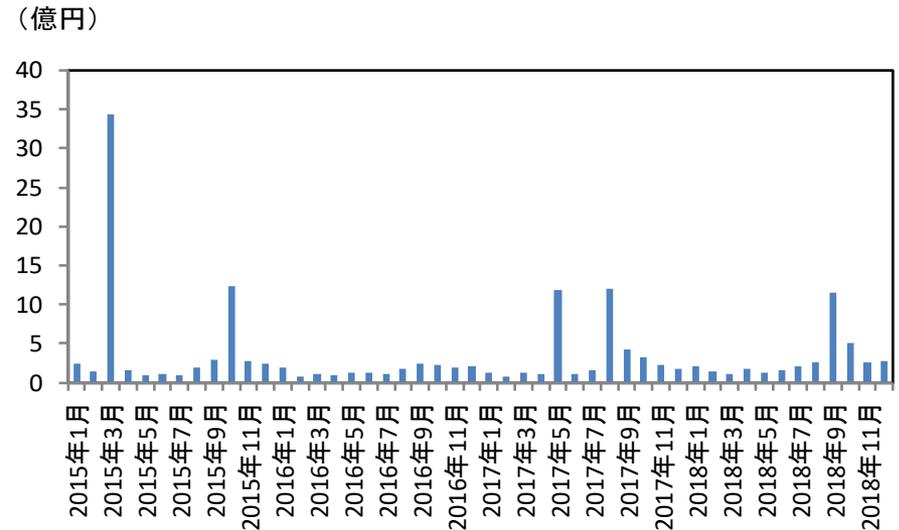
貿易額について日本側の統計をみると、2018年の日本の対モンゴル輸出は前年比42.7%増の572億円、日本の対モンゴル輸入は同15.9%減の36億円となった。

日本の対モンゴル輸出



出所:財務省貿易統計(日本)

日本の対モンゴル輸入



出所:財務省貿易統計(日本)

レポートをご覧いただいた後、アンケート(所要時間:約1分)にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20180052>

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32
TEL : 03-3582-5181
E-mail : ORG@jetro.go.jp

禁無断転載